

PCOの技術力を見分けるには

(公社)東京都ペストコントロール協会 理事 紅谷 一郎

《質問》

技術力がある害虫防除会社に相談したり見積もりをお願いしたりしたいが、どうすれば良いのか、全くわからないので教えてほしい。

《回答》

都民の皆様からの「相談依頼」(見積もり依頼を含む)は、私たち公益社団法人東京都ペストコントロール協会(☎03-3254-0014)にお電話ください。協会から地元の「害虫相談所」として登録されている、協会員の専門業者を紹介します。

「害虫相談所」として当協会から承認されるには、防除作業監督者、しろあり防除施工士、ペストコントロール技術者のうちいずれかの資格者が1名以上在籍していること、実際に都民の相談にあたる「相談員」は、協会が指定する3講習会のうち2講習会に参加することなどが義務づけられています。

協会は公益目的で「害虫相談所」を運用しており、「相談員」は一定以上の技術力があると考えられますので、都民が各地の保健所に相談すると、ペストコントロール協会を紹介されることが殆どになっています。

《質問》

3種いずれかの資格者が1名以上在籍していることで、その会社の技術力が分かるのか？

《回答》

「防除作業監督者」は「建築物衛生法」の特定建築物でねずみ害虫等の防除にあたる技術者の国家資格(厚生労働省所管)です。

「しろあり防除施工士」は(公社)日本しろあり対策協会(国土交通省所管)の資格です。

「ペストコントロール技術者」は(公社)日本ペストコントロール協会(厚生労働省、環境省所管)の資格です。

これらの資格を予め個人的に取得することは稀で、そのPCO会社に入社してから社員として少なくとも2年以上の経験を積んだ後、会社負担で講習会や試験に臨み、取得したと考えられます。

従って有資格者が在籍していることは、会社として技術力の向上のために人材と資金を投入し、期間を費やした結果なので、有資格者が無い会社より居る会社のほうが、技術力があると考えて差し支えないでしょう。

《質問》

3種すべての資格者がいる方が、技術力が高いのではないかと？

《回答》

確かに3種すべての資格者が在籍しているほうがベターですが、診療所に例えていえば複数の診療科目の専門医が在籍している総合診療所ばかりではなく、眼科、小児科、…のように単科を標榜した医院もあります。

害虫相談所の運用にあたっては、「害虫相談所」ごとの相談受入れ可能な防除品目を予め調べておき、都民からの相談内容に応じて適切な相談所を紹介しています。

《質問》

多数の人に提供する食事や食品を大量に製造する、レストランや弁当の大型厨房、生洋菓子や食品製造の工場など、高度な衛生管理技術を必要とする、事業者向けPCO技術を持った会員も紹介可能か？

《回答》

建築物衛生法の特定建築物のねずみ昆虫等の防除は、建築物内の飲食店を含む多様な状況に対応できる幅広いPCO技術を必要とします。防除作業監督者が在籍し、建築物衛生法の防除業の都知事登録を保持している会員なら、通常の飲食店であれば対応可能と考えられます。

しかし大型厨房や食品工場では、大量に製造された食事や食品がその場で消費されることなく外部に配送され、離れたさまざまな場所で事後に大量に消費されます。

特定建築物内の飲食店より大量で事後の消費となるため、食中毒や異物混入などの事故が一旦起きると影響が深刻で広範囲に及ぶと考えられますから、より精度が高い衛生管理が求められます。

具体的には、人の健康に被害を及ぼす衛生害虫はもちろん、食品・貯穀害虫、侵入する野外の虫などを同定し対策する技術、モニタリング(定点定期調査)技術、厨房機器や食品製造機器、清浄・衛生設備の知識など、大学で関連分野を専攻した上で実務経験を積んだ

り、関連学会(日本ペストロジー学会、日本家屋害虫学会、日本衛生動物学会など)で活動したりするなど技術研鑽に励むPCO技術者が在籍していないと対応が難しいと思われます。

当協会ではそれぞれの会員がこのようなPCO技術を持つかどうかを公式には調査していませんが、ある程度は把握していますので、都内の中小事業者の相談内容に応じて「害虫相談所」会員を紹介しています。

《質問》

PCOの技術力を素人がカンタンに見抜くには？

《回答》

残念ながらそれは非常に難しいと思われます。ねずみ害虫で困ったことを具体的に当協会(☎03-3254-0014)までご相談ください。なお虫や糞などの現物を採集して保管しておく、解決への糸口になります。

1匹でなくできれば数匹から数十匹、直でなくティッシュなどで掴んで包み、チャック付きビニル袋などで保管しておく、同定しやすく助かります。

なお、微小な虫を採集するときセロテープを上から押しつたり、セロテープを貼り合わせた中に封入したりすると、接着剤の中に埋もれたり、虫が潰れたりして、判別し難しくなりますので、避けてください。

微小な虫の体は顕微鏡で観察すると透き通っていることが多く、透明な接着剤と見分けにくくなります。また微小な虫を同定するには微小な器官の特徴を見分ける必要がありますが、潰れていると困難なことがあるからです。